

2026 年度信州大学大学院総合人文社会科学研究所
総合人文社会科学専攻心理学分野（後期日程）
（臨床心理学コース）
出題意図及び解答例

問題 1

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、研究を行うために必要な考察力・思考力、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現する力を確認することにある。

解答例

(1)	略
(2)	略
(3)	略

問題 2

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 3

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針

(アドミッション・ポリシー)では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 4

出題意図

総合人文社会科学研究科入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 5

出題意図

総合人文社会科学研究科入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 6

出題意図

総合人文社会科学研究科入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 7

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 8

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、研究を行うために必要な考察力・思考力、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現する力を確認することにある。

解答例

略

問題 9

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 10

出題意図

総合人文社会科学研究所入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

問題 11

出題意図

総合人文科学研究科入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。また、心理学分野入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）では「心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者」を求めている。本問の出題意図は、これらに対応し、専門的知識・技能を確認することにある。

解答例

略

受験番号	
------	--

2026年度入学者選抜試験 後期日程

筆記試験

試験問題

(臨床心理学コース)

注意事項

1. 試験問題及び解答用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 受験番号を試験問題、解答用紙及び下書用紙の指定された場所に正しく記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された場所に記入すること。それ以外の場所に記入された解答は、採点の対象とならない。
4. ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、監督者に申し出ること。
5. 試験問題の余白及び下書用紙は適宜利用してよいが、破いたり切り離したりしないこと。
6. 試験問題、解答用紙及び下書用紙のホチキスは外さないこと。
7. 試験問題、解答用紙及び下書用紙は持ち帰らないこと。

2026年度信州大学大学院総合人文社会科学研究科総合人文社会科学専攻心理学分野
後期日程試験問題（臨床心理学コース）

問題1

以下の英文は、ある研究論文の一部を抜粋したものである。この英文を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(Klein, J. P., Rozental, A., Sürig, S., & Moritz, S. (2024). Adverse Events of Psychological Interventions: Definitions, Assessment, Current State of the Research and Implications for Research and Clinical Practice. *Psychotherapy and Psychosomatics*, 93(5), 308–315. doi:10.1159/000540212 より一部改変して引用)

2026年度信州大学大学院総合人文社会科学部総合人文社会科学専攻心理学分野
後期日程試験問題（臨床心理学コース）

- (1) 本文中で言及されている有害事象は、大きく3つのカテゴリーに分類できる。それぞれのカテゴリーについて、例を挙げながら説明しなさい。
- (2) 5500人以上の患者を対象とした質問紙調査の結果と、システマティックレビューの結果を比較すると、有害事象の発生頻度に大きな差がある。この差が生じる理由として考えられることを説明しなさい。
- (3) 開かれた質問を用いた研究において、セラピストが回答した場合と患者が回答した場合で、有害事象の報告内容にどのような違いがあったか、簡潔に説明しなさい。

問題2

脳を構成する細胞のうち、グリア細胞はどのような役割を担っているか説明しなさい。

問題3

里親制度の定義と里親の役割、里親制度の課題について簡単に説明しなさい。

問題4

学校心理学において、児童生徒に対する心理教育的援助サービスを展開していくにあたり、心理教育的アセスメントは重要な取り組みとなります。心理教育的アセスメントとは何かを述べた後に、心理教育的アセスメントを実施する際に、何をアセスメントするのか、またその方法にはどのようなものがあるかについて述べなさい。

問題5

ある子どもの「食事の時間になっても席に着かない」という行動について、確立操作（Establishing Operation）の観点から考えられる要因を1つ挙げ、介入方法を提案しなさい。

問題6

非構造化面接について説明し、当該面接技法のメリット、デメリットについて述べなさい。

2026年度信州大学大学院総合人文社会科学研究科総合人文社会科学専攻心理学分野
後期日程試験問題（臨床心理学コース）

問題 7

ヴィゴツキーが提唱した「発達の最近接領域（Zone of Proximal Development: ZPD）」とはどのような概念か説明しなさい。また、この概念をふまえると教育はどのような役割をもつか説明しなさい。

問題 8

新たに心理尺度を作成するため、4件法の評定尺度で16項目からなる質問紙を作成し、得られたデータを因子分析した。2因子解を求めたが、2因子による累積寄与率は25%であった。累積寄与率を高める方法を2つ挙げなさい。

問題 9

アトキンソンとシフリンが提唱した二重貯蔵モデルについて説明しなさい。

問題 10

データ解析における信頼区間の定義と意義について述べなさい。

問題 11

説得技法の一つである譲歩的要請法（ドアインザフェイス）について、具体例を挙げながら説明しなさい。